

# 日本リハビリテーション 病院・施設協会誌

2021年3月発行  
(年4回発行)第179号

Japan Association of Rehabilitation Hospital and Institution

2021年[春]



■ 巻頭特集

東日本大震災から10年

災害リハビリテーション支援から学ぶ地域包括ケアの神髄

■ トピック 仕事と育児の両立セミナー

■ REPORT 第28回日本慢性期医療学会 報告

■ ルポ 第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会

ZOOM-IN 会員病院・施設

社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院



一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会

CONTENTS

- 3 **巻頭特集**  
**東日本大震災から10年**  
**災害リハビリテーション支援から学ぶ地域包括ケアの神髄**  
栗原 正紀
- 11 **巻頭言**  
当協会の次の一手は — 過去の協会活動を振り返って —  
梅津 祐一
- 12 **トピック①** **仕事と育児の両立セミナー 子育て世代のスキルアップ支援**  
林田 香織
- 14 **トピック②** **日本リハビリテーション病院・施設協会 歯科衛生士向け研修会**  
白石 愛
- 16 **REPORT①** **新型コロナウイルスによる病院運営への影響調査 結果報告 第2報**  
調査・検証委員会
- 20 **REPORT②** **第28回日本慢性期医療学会 報告**  
田中 志子
- 22 **トピック③** **地域における臨床研究のススメ2 測定の作法**  
紙谷 司
- 24 **トピック④** **認知症があることによって生じる困難とその評価**  
山口 晴保
- 26 **ルポ①** **第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会在神戸で開催**
- 28 CURRENT TOPICS **厚労省関連ニュース**
- 33 **ZOOM IN** **会員病院・施設**  
**社会医療法人恒心会**  
**恒心会おぐら病院(鹿児島県)**
- 38 **Information**



# 当協会の次の一手は —過去の協会活動を振り返って—



梅津 祐一

日本リハビリテーション病院・施設協会 副会長  
医療法人共和会小倉リハビリテーション病院 院長

本誌巻頭言の原稿締め切りは、2021年1月25日であるが、発刊されたときのコロナ感染状況を現時点で語ることは難しい。その先、6か月後の東京オリンピックの開催を含め、世界の感染状況はどうなっているのだろうか。現状では感染を拡大させるような行動を避け、感染拡大予防を最優先とすることが求められている。

当協会においても、リハビリテーション医療における感染対策について、オンラインによる講義を企画・開催することで、会員病院・施設に有益な情報を提供している。今後も、会員の皆さんにとって有益な研修を企画し、タイムリーな情報を提供することが急務であると考えている。

皆さんの病院・施設においては、運営・経営上、コロナ感染の影響を少なからず受けておられるものと推察する。医療保険や介護保険の報酬請求が少なくなるということは、リハビリテーションサービスの提供量が減少していることを意味する。向上すべき機能が不十分であったり、維持すべき体力を低下させたり、患者やサービス利用者に対し満足できる成果が上げられていないのではないかとと思われる。

しかし、リハビリテーション病院・施設がコロナ感染拡大の影響で経営不振に陥り、倒産に追い込まれるような話は聞かない。それは、リハビリテーション関連収益がそれなりに確保されているからではないだろうか。

当協会は2019年に創立30周年を迎えたが、創立

時のリハビリテーション医療を取り巻く環境は診療報酬上極めて厳しかった。当時のリハビリテーション関連報酬だけでは、特に都市部では経営を成り立たせることは困難だといわれていた。当協会の設立目的は「日本のリハビリテーション医療提供体制の確立」であった。

この30余年の間に、診療報酬において十分量のリハビリテーション提供体制を提案し、実現してきた。また、石川誠顧問が中心となり、回復期リハビリテーション病棟の提案をし、制度化させることができた。また、浜村明徳名誉会長が中心となり、全国の各都道府県単位の地域リハビリテーション推進事業を提案し、その事業をけん引してきた。その他数々のリハビリテーション施策に積極的に関与し、地域リハビリテーションを基盤に社会貢献してきたものと考えている。

設立から32年間のリハビリテーション全般における当協会の活動は、コロナ感染下においても持続的に機能し、サービス提供体制の維持につながっているものと思われる。

非常時のリハビリテーション活動は、東日本大震災におけるリハビリテーション支援から、栗原正紀名誉会長らの献身的な活動により、日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）の立ち上げにつながった。コロナ感染という非常事態下のリハビリテーションも、直接的な活動だけでなくリモート活用など、なんらかの形で間接的活動に発展させることができればと思う。



※このページ以降の誌面をご覧ください。場合は、  
当協会への入会が必要です。

ご入会のお手続きは下記へ



【入会について】

<https://www.rehakyoh.jp/join.html>